

あすなら苑 定期巡回随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議

開催日時	2026年2月13日（金） 10：30～12：00 （第52回） あすなら苑サロンにて				
運営推進会議メンバー （本日の参加者）	利用者・家族：1名 地域代表；4名 市・包括職員：2名 職員：8名				
利用者登録状況	登録者実績件数：12月実績件数；127件 看護あり；75件				
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	43名	48名	24名	8名	5名
その他事業報告	自宅での看取り 12月 1件 ケアプランセンター12月 266件 デイサービス 12月平均 30.3名 ショートステイ 12月平均 11.2名 特養 12月 54床 待機者 22名 サロン企画 12月累計 147名				
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安心システム会議を毎月2回、部署間での情報共有に努めている ・6・11月虐待防止について事例での学習を行う ・7/1 リスクマネジメント委員会 ・7月 感染症・ゾーニングの考え方の学習を行う ・9/1 地震の災害訓練、 10/30 避難訓練(火災) ・11/21 治道地区の認知症高齢者見守り訓練に参加しました ・安全衛生委員会を毎月行い、職員の健康・車両や労働環境について話し合いをおこなう ・退院受け入れ支援ニュースについて →毎月の発行で地域の皆様に向け、事例を通して定期巡回についてお伝えする <ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り（別紙①参照） ・定期巡回の事例の報告・管理栄養士より 				
評価・要望・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から何かあれば第3包括やあすなら苑へきいている民生委員としてつなぐ役目をしたい。 ・第三包括は昭和・筒井・治道地区担当。大和郡山市全体で65歳以上の方は5400人程。その中で、第三包括担当の委託は200人程、包括職員ですべての高齢者をとというのは難しい現状、地域の方や民生委員の方の力が必要、地域の方からの相談でいろいろなつながりができ日々勉強させていただき、今後もつなぎ役としてやっていきたい ・サロン参加中、知り合いと行きたい日が違う、サロンの送迎が難しいといわれた、知り合いは認知症状の進行で自宅にこもりがちの状況何とかしたいと思っている、今は天理のCMが担当している 				

・サロン・・・コロナ前は60人くらい利用、スペースが狭い中で食事していたので、感染症の観点からあまりよくない・送迎できる職員の人員の不足もあり、最近では30人程度の利用

・2/13筒井地区で認知症模擬訓練、認知症の方が地域で増えてくる中、困っている方がいた時の声かけの訓練を実施、認知症に対する正しい理解を広めていく必要あり。自分の心を閉ざすと相手も心を開きにくく、コミュニケーションがうまくとれないこともある

・認知症の方と普段から関わる事が多い、特別ではない気持ちを持っている、学習会に参加することで、認知症の方と初めて接する方の関わり方の難しさがわかり、普段と同じように接するでよいのではないかと勉強になった

・民生委員はどういったことをしているのかと聞きたいことがあり、民生委員とCMとで交流会を行った。その時の出会いから、今は協力し合い連携できている

・介護福祉課は介護認定を判定する部門。主に困っていることがあれば申請され、介護認定となる。困りごとのリアルな部分もきいている。入院・退院後、自宅へ戻る際、介護保険を申請する方が多い。自宅へ戻り生活したい方が多く、介護度の重い方が自宅でどのように生活をしていくか、その中で定期巡回などのサービスは心強いと思う現状の介護度をどのように維持していくかを考える

・夫の両親と同居する予定、夫の両親が高齢なため、お話を聞いて、他人事ではないと思った、自宅の近くにあすなろ苑のような施設があると心強く安心して生活できる

・地域の方や市役所との連携・つながりがあるのがよくわかった。特養入居される方は、90歳代が当たり前になってきている
特養は入居者の家として、過ごしやすい環境をつくれるように目指す医療とのつながりも大切であり、転倒等で骨折になることが多く、見守りや声かけを強化していきたい、昔は病院で看取ることが多かったが、特養ではご家族やご本人の意向を伺いながら看取を行うこともある、自然に最期を迎えたいという方が多いようになった印象

・認知症の方と接するのに、家族でも対応が難しい時がある
日々のかかわりの中、認知症の症状か、そうでないのかわからない時があるそういう時は、家族だけでは難しく、地域との関わりが大切である

・認知症だからといって特別ではなく、壁をなくして関わる事が大切で、認知症の方の居場所づくりおこない、地域で支える環境づくりが大切

	<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回を利用しながら、自宅で家族を看取ったことがあり、亡くなる時のすごく穏やかな顔が思い出される、自宅で看取る事が出来る環境の方が増えたらいいと思う ・昭和地区民生委員より 昭和公民館で、奇数月の29日にサロン開催 市のサポート事業 ・オレンジカフェ 認知症の取り組みについて 城ホール図書館にて3/2まで 地域の方が熱心にされている
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・5、10、15、20、25、30日（サロン 11時～体操と食事） ・こども広場（毎週 月 水 金 16:30～） ・次回の介護医療連携推進会議は2026年6月頃開催予定

2025年度下期

～前回のアンケートからのご意見・質問の振り返り～

項目

貴苑の理念は各スタッフに浸透されていますか？との質問について

→当法人の理念について

お年寄りから子どもまで、みんなが安心して暮らせる地域であって欲しい、それが私達の願いです。

・私たちは7つのことを大切にしています

- ①利用者本位 ②喜びの共有 ③安全・安心な介護 ④生活の再建
- ⑤地域に開かれた組織 ⑥誠実で正直な運営 ⑦学習する気風と活気ある楽しい職場

・私たちは『あすなら10の基本ケア』の定着を目指しています

- ①換気をする ②床に足をつけて椅子に座る ③トイレに座る ④あたたかい食事をする
- ⑤家庭浴に入る ⑥座って会話をする ⑦町内にお出かけをする
- ⑧夢中になれることをする ⑨ケア会議をする ⑩ターミナルケアをする

※理念・目標については、毎年上期の全体会議で理事長からお話があり、各スタッフが聴講しています

専門的な知識や技術の研修は有益なものにしてほしい、とのご意見について

→私たち専門職として、スキルアップは欠かせないと考えています、法人内で行われる研修だけでなく、例えば、管理栄養士の方の場合・・・嚥下食についての研修で言語聴覚士の方の話を聴き、実際に食べてみて飲み込みを確認しました、また在宅栄養訪問を行っている方からの話を聴く機会があり、調理ケアについてのヒントを得ることができています

介護スタッフと看護スタッフ間での相互の理解は行えていますか？

情報の突合せは多職種で行えていますか？ との質問について

→事務所がワンフロアなので、スムーズなやり取りが行えています、

日々の相談ある時など、「ちょっとお話があります」と呼び止め、ミニ会議を開き、密な話し合いが行えています

4、会議内容はその場かぎりにせず、次回に繋がっていますか？との質問について

→毎月ヘルパー会議を開催し、その中で話し合われたことは次につなげるよう、その後、日々のケアや働き方の改善に役立っています

個人情報の保護の観点からの情報の共有に際しての配慮はできていますか、とのご意見について

→ガルーン、エルガナ、トヨクモ等のアプリを使い、スタッフ間で情報共有しています
契約時には個人情報についての同意書をいただき慎重に情報を取り扱うようにしています
毎年の全体会議での研修で個人情報の取り扱いについて学習しています

6、契約時の説明で十分でなかったら、わかるように説明してほしいです、とのご意見について

→ご本人やご家族の求めに応じて、その都度説明させていただき、理解いただくように努めています

ケアマネージャーとの連携について、十分に行っていただきたい、とのご意見について

→担当のケアマネージャーは内部(あすなら苑居宅に9人)、外部ケアマネは、田北会、あくなみ苑

ピュアネス藍、ずいしょう苑、テイクイット、ひまわりいかるが館と6か所の居宅ケアマネと

連携しています、毎月の初めに書類のやり取りのため直接会い、それぞれの利用者の相談をしています日々のケアの中で報告したいことや相談事項があれば、FAXや電話でその都度伝え共有を行っています

8、インフォーマル・フォーマルサービスの活用のご意見について

→公助、共助、自助とあり

自助はご自身の力、公助は公費で行うフォーマルサービス私たち定期巡回のサービスも含まれます

共助の部分は家族や地域、民生委員・友人・知人などの方の生活の助けでインフォーマルサービスです

利用者さんの生活でお話お聴きすると、見守りや買い物の手伝い、ゴミ捨てを手伝ってもらう場合などもあり近くの民生委員さんも関わっておられます

住み慣れた地域での暮らしを続けるのに、フォーマルサービスとインフォーマルサービスと組み合わせていくことが大切です、私たちは関わる方々と関係を築き協力させていただいています

会議の記録等の閲覧：貴法人のホームページにアクセスできない方への配慮は？ とのご意見について

→お問い合わせがありましたら、記録を閲覧できるようにしています

10、サービスが始まることで利用者やご家族が安心できるように努めてほしい、とのご意見について

→高齢独居で退院されてからの暮らしに不安のある方や、老々介護や、仕事をしながら老親の介護をされ

ている方など、様々なケースがあります、担当ケアマネや包括の方からの支援の要請があれば、

すぐに駆け付けることを目指し取り組んでいます、こまめな連絡を行い、様子の共有や、ニーズのすり合わせをしながらケアをすすめることで、より安心していただくように努めています

あすなら苑 定期巡回随時対応型訪問介護看護 介護医療連携推進会議

開催日時	2025年6月12日（木） 10:00～11:30 （第51回） あすなら苑サロンにて				
運営推進会議メンバー （本日の参加者）	利用者・家族：1名 地域代表；3名 市・包括職員：2名 職員：8名				
利用者登録状況	登録者実績件数：4月実績件数；129件 看護あり；71件				
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	38名	51名	23名	11名	6名
その他事業報告	<p>自宅での看取り 4月2件</p> <p>ケアプランセンター4月 263件</p> <p>デイサービス 4月平均 28.1名</p> <p>ショートステイ 4月平均 12.6名</p> <p>サロン企画 4月累計 161名</p>				
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安心システム会議を毎月2回行い部署間での情報共有に努めている ・2/26 認知症を語ろう会に参加、地域の事業者の方と交流し認知症の方と共に生きることを学び合う ・2月にNHKの取材、3/7 かんさい熱視線で放映(介護士の一日、介護と看護の連携などについて) ・3/8 グリーフケアコンサートを開催し遺族の方をお招きする、26名の方が参加 ・4/12 家族学習会を行い法人の取り組みや喜ばれた事例を報告する、25名の方が参加 ・3/11 防災訓練(水害)、5/22 消防訓練を行い緊急時の体制見直しを行う ・事故防止対策・虐待防止身体拘束防止についてそれぞれ委員会と研修を行い周知する ・安全衛生委員会を毎月行い職員の健康、車両や労働環境についてなど話し合いをおこなう ・安全運転についてコープあいちの取り組みを学び、職員の安全運転の意識を高める ・退院受け入れ支援ニュースについて →毎月の発行で地域の皆様に向け、事例を通して定期巡回についてお伝えする ・前回の振り返り 				
評価・要望・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・退院受入支援センターニュースを地域に発信することに関連して、ニュースが世の中にありすぎて困っておりどの情報が正しいのか混乱 				

している。インパクトをつけた情報発信がよいが、医療・介護の分野に限らず、健康面など総合的な内容で発信を求める、

・包括より、チームオレンジ；認知症の方のサポートをするボランティアがあり、令和7年度は10名で活動予定。地域で認知症の方をどのようにサポートしていくか地域の方と一緒に考えていきたい。また声かけさせていただくこともあると思う。自治会の集まり等に声をかけてくだされば参加します。

・いろいろな会の代表の集まりがあり、何年先がわからないが、昭和幼稚園の跡地を活用の話があり、その中で子ども食堂の検討もしている。そのためにも各団体にボランティアが必要かと思う。

・地域の取り組み：高齢者とこどもの交流の場が少なくなったと感じる。

・週1回ヘルパーの買い物支援してもらうが、一緒に買い物に行きたいと思うことがある。→介護保険上、ヘルパーと一緒に買い物に行くのはできない現状。

・いろいろな会の方と交流したい；あすなら苑の周辺の自治会含め、高齢者社会に何ができるか検討いただけたら幸いです。

・配食サービスが少し高額だと思う

→市からの配食サービスは、週3回・400円で対応可能なサービス元気な方は利用できない、必要と感じている方から直接包括へ連絡いただけたら対応します。身体状況の把握等の必要があるので、自宅訪問させていただくことになると思います。

通常の配食弁当は、1食700～800円くらいの金額になる。

・Aiの発展で地域が潤うことにつながると思う。

先取して、医療介護福祉へ進めていくことが重要でないか。

実現するためには、みんなで力をあわせて産業文化をつくっていく必要があると思う。

・ボランティアを生かす文化作り

係長より

サロン利用の方は介護度がつかない傾向があるということに対して、→実感あります。健康意識を常に持っておられる感じ。介護度をどれだけおさえていただくか、がわたしたちのひとつの課題。実践を交えて今の元気を保っているということを発信する場をつくる検討をおこなっている

今後の予定	<ul style="list-style-type: none">・ 5、10、15、20、25、30 日（あすならサロン 11:00～体操と食事）・ こども広場（毎週 月 水 金 16:30～） ・ 次回の介護医療連携推進会議は 2026 年 2 月頃開催予定
-------	--